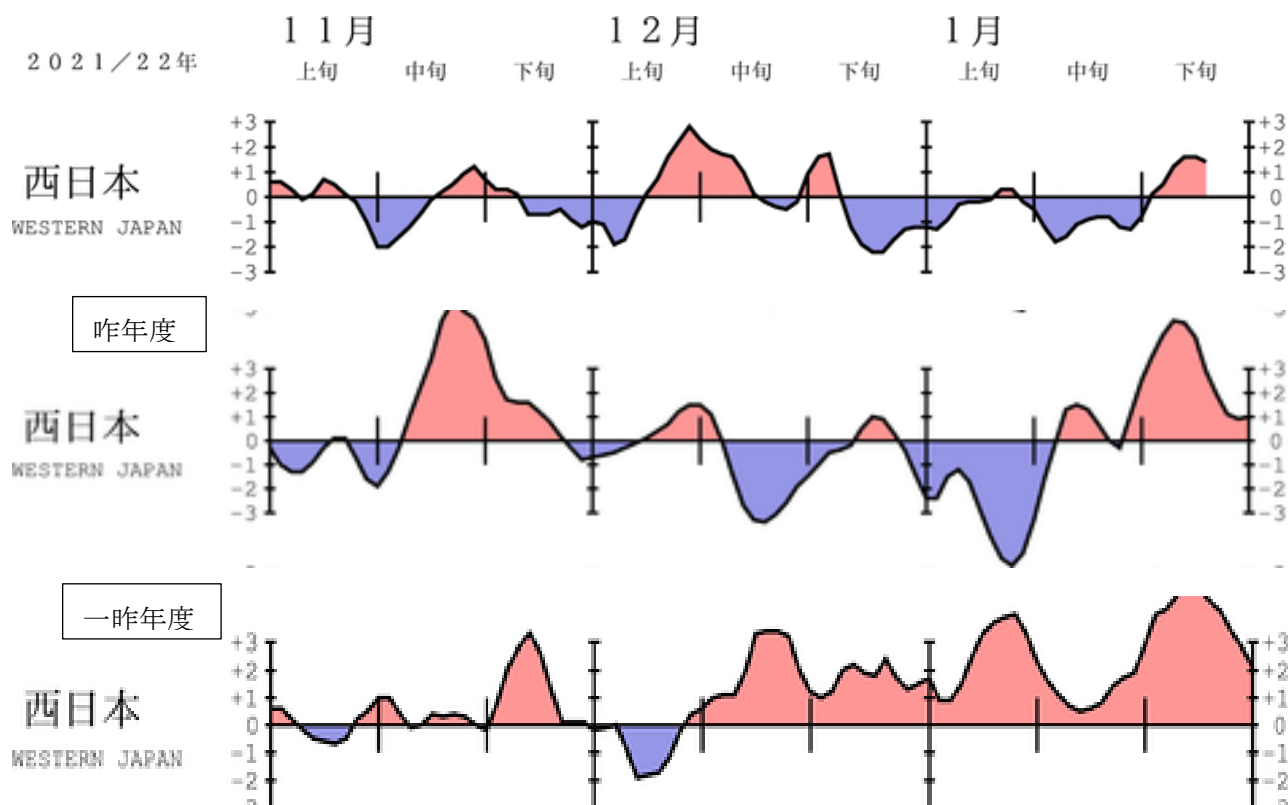


毎年このような書き出しはしたくはないのですが・・・、昨秋以降、コロナの感染も下火となったかなと思っていた矢先、新型のオミクロン株が登場、これまでにない勢いで拡大が広がって来ています。近畿圏でも「非常事態宣言」ではありませんが「まん防」が発令されています。「宣言」ではないとは言え、感染拡大のスピードはこれまで以上、恐怖感さえ覚えます。今のところシニア自然大学校本体の授業や行事は続行されていますが、地域のMNCの活動や、市や公民館活動などは全て中止となって来ています。どうやら、またまた、ステイホームの多い生活に逆戻りとなりそうです。こんな状況から、所謂コロナフレイル症状防止対策、体力維持の為に近所歩き、ボケ防止の目的で本年も3年目となる「サクラだより」をまとめて行こうかなと考えている次第です。

取り敢えず、本報ではサクラの開花等に大きく影響するこの冬の気温の傾向と気象庁が最近発表した今後の気象予報、最近気象会社が発表した今年の「ソメイヨシノ」の開花・満開日の予想、既に開花が始まっている沖縄・奄美でのヒカンザクラの開花情報、近所歩きで観察されたサクラ類の現況など記述しておこうかなと思っています。

1. 今年の冬季の気温の経過。

1-1. 西日本の気温（平年差・昨年・一昨年度と比較）



これまでの「サクラだより」では気象庁が公開している各地域の平均気温経緯図をしばしば利用して来ています。日本を大きく北日本・東日本・西日本・奄美沖縄の4地区に分け、各地域の気温経過を平年と比べどの程度高い、あるいは低いかを、5日移動平均で示されている図です。この図は自然界の変化を経年の観る、あるいは比較するには最も有効な情報源であると考えています。取り上げてきている「サクラ」類の休眠打破や開花なども平年や前年などと比較し考察するにも有用なデーターであると考え利用

して来ています。本報では「休眠打破」に関係すると考えられる 11 月～1 月間の西日本の気温経過図を昨年、一昨年と並べて記載しました。

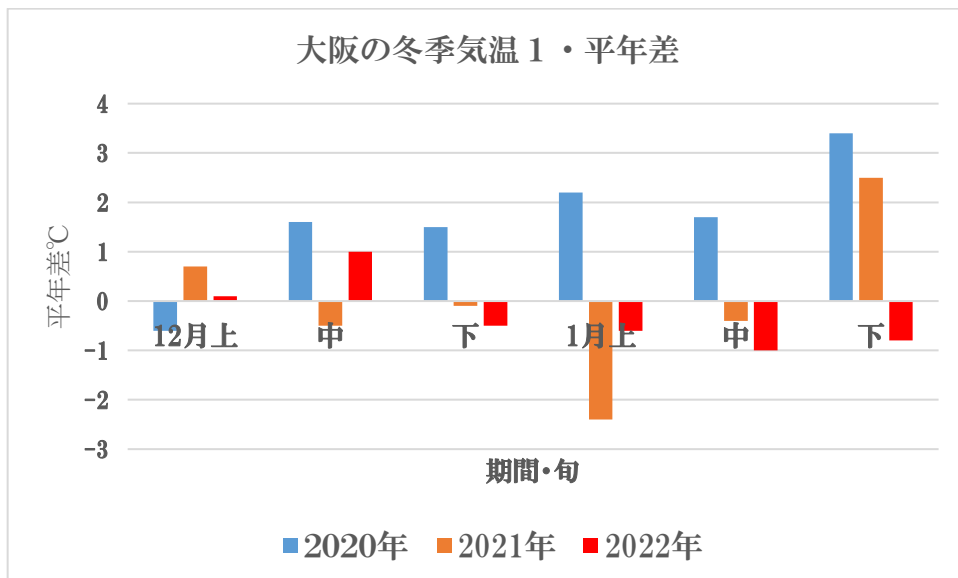
＊一昨年はこの期間を通じて気温は平年値を上回り、休眠打破が平年に比べ可成り遅れたと考えられ、昨年、今年は 11 月末から 1 月にかけて寒冷となっており、休眠打破は平年より進んだと考えられます。昨年は、図にも表れていますが、1 月の後半から温暖化、2 月、3 月も暖かい日が続いたので、各地で記録的に早い開花・満開となりました。今年も昨年以上に寒冷な期間が続いており、休眠打破は平年よりは進んでいるとは考えられますが、開花が早くなるか否かは今後の気温の高低次第でしょう。因みに今月の 26 日に気象庁が発表した、近畿の「向う 3 ヶ月間の気象予報」を見ると以下の通りです。

- ・2 月気温は平年より高い確率 20%、平年並み 40%、平年より低い 40%
- ・3 月気温は平年より高い確率 30%、平年並み 40%、平年より低い 30%
- ・4 月気温は平年より高い確率 30%、平年並み 40%、平年より低い 30%

この冬の寒さは 2 月までは続き、3 月になって平年並みとなるとの予報、休眠打破が平年以上に進んでいても、昨年ほどには早い開花とはならないと思われます。

1－2．大阪の気温の推移

西日本という広域でなく、身近な大阪（市）の 12 月、1 月の期間の旬の気温を新平年値との差異でみて見ました。比較の為、一昨年、昨年度の気温も新しい平年値基準で見直しました。



平年との偏差値は、前記の地域の気温経過図とは異なる点もあるかも知れませんが傾向はほぼ同じです。なお、この間の平年値差との積算温度は 2020 年度で 101℃・Day、2021 年度は±0℃・Day、今年は -19℃・Day です。この値は休眠打破の時期や期間に関係するかも知れないですね。

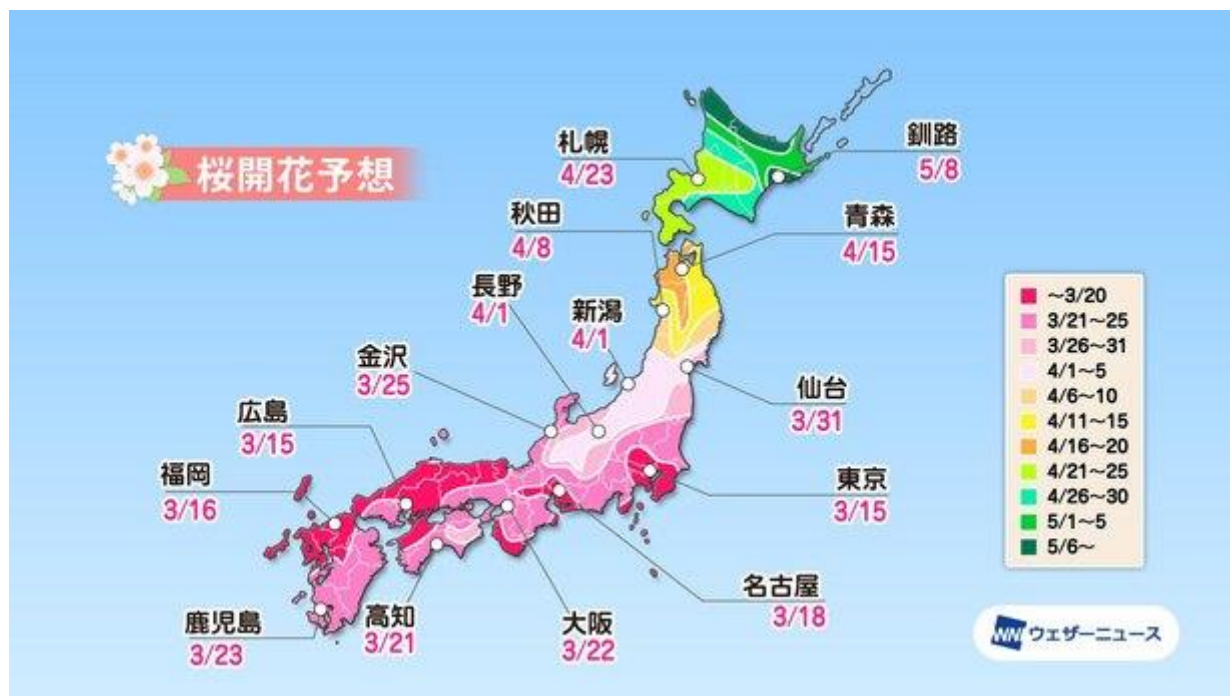
2．今年の「サクラ（ソメイヨシノ）」の開花予報―1

ご承知の通り、以前は気象庁が「サクラの開花予想日」を発表していましたが、誤差がいろいろ問題となり中止、代わって現在は各「気象会社」が開花・満開の予報を出すようになってきています。今年も 1 月 20 日にウェザーニューズ社（下に転記）などから、2022 年の「第一回桜開花予想」が発表されました。

「桜の花芽は気温の高い夏から秋にかけて作られ、冬になると休眠していったん生長が止まる。その後、真冬の厳しい寒さに一定期間さらされると、花芽が休眠から目覚め、開花に向けて再び生長を始める。

2021 年 12 月から 2022 年 1 月前半にかけては各地で厳しい寒さとなった日が多く、桜の花芽の休眠打破は全国的に十分に行われているとみられている。今後、3 月からは晴れて暖かい日が増えてくる見通しで、気温は平年並から高い傾向となるため、開花時期は平年より早くなると見込まれる。

全国の開花トップとなるのは 3 月 15 日(火)の東京と広島で、16 日(水)に福岡が続く見込みだ。」



一方、ウエザオマップ社は、

「今年の冬は、11 月から 12 月前半まではなかなか寒気が流れ込みませんでしたが、12 月後半と 1 月は寒くなっています。このため、休眠打破はほぼ平年並みと考えられます。全国的に記録的な早さで開花した 2021 年と比較しても、今年は東日本や北日本では同じくらい早く、平年より 5 日から 10 日早い開花となる予想だ。一方、西日本も平年よりは早いものの、昨年よりは遅れるところが多いとみられる。3 月 15 日(火)の東京と広島で、16 日(水)に福岡で開花を迎えたあと、3 月下旬には西日本から東日本の各地で開花。東北南部でも咲き始め、4 月 21 日(木)には函館から、北海道にも桜前線が上陸する予想だ。」

＊同社による現時点での近畿各地の開花予想日は・・・。

大阪 3 月 26 日、京都 3 月 27 日、神戸 3 月 27 日、奈良 3 月 29 日、和歌山 3 月 24 日、彦根 4 月 1 日

3. サクラ「ヒカンザクラ」の開花情報

今年の冬は寒く、サクラだよりなどまだ先のことと気にも留めずにいた矢先、S さんから「大仙公園」では既に早咲きの「河津桜」の芽が膨らんで来ているとのお便りと写真が届けられました。「河津桜」については後述するが、もうそんな季節かと気象庁の「生物季節観察」のデーターを調べてみると、既に奄美・沖縄地区で観測標準種である「ヒカンザクラ」の開花日が下記のように記録されていました。

地域	新平年値	昨年	今年
名瀬（奄美）	1 月 20 日	1 月 25 日	1 月 18 日
沖 縄	1 月 16 日	1 月 4 日	1 月 11 日
宮古島	1 月 17 日	1 月 16 日	1 月 19 日
石垣島	1 月 18 日	1 月 27 日	1 月 27 日

なお、これ等の場所で1月末時点ではまだ「満開」の報告はありません。一昨年度、昨年度は宮古島、石垣島では開花はしたものの「満開」には至りませんでした。多分この地域では温暖化の影響で「休眠打破」が部分的であったのではないかと考えています。今期は奄美・沖縄地域では11月、12月の気温が平年並み、または少し低目でしたので「満開」が記録されるのではないかと考えています。

この開花情報を見て、1月27日に観察対象としている芦屋川河岸の公園の「ヒカンザクラ」は如何にと観に行つて来ました。右の写真のように、花芽が膨らみ、芽の先端が僅かに淡緑色となっているものも見られました。芽の状況から既に「休眠打破」されているのは確実。開花は今後の気温次第だと思います。なお、ここの桜の開花は昨年は2月17日、一昨年は2月10日でした。



4. カワズザクラ（河津桜）

前述の様に、1月24日にSさんから大仙公園の河津桜の芽が膨れてきていると右の写真が届けられました。河津桜については昨年度の「サクラだより2」に詳述しているように、前述のヒカンザクラとオオシマザクラの自然交雑種とされ、本州では最も早く開花する桜として知られています。原木は伊豆半島・河津町にあり、この附近が特に有名で、毎年、河津町観光課主催の「桜祭り」が開かれて来ています。



この地区に限らず、最近では早咲きの桜として好まれ各地に植栽されるようになって来ています。住まいの近くにも2ヶ所に植栽されている場所があるので、早速観察に出かけました。下に、この2ヶ所の1月25日と30日の写真を提示しておきます。（上段は25日、その下に30日の映像付記）



左は芦屋市内・宮川・対岸の観察木

右は芦屋市・東山公園 観察木



25日、両所とも花芽が膨れて来ており、既に休眠打破され蕾の成長期に入っていることが伺えました。昨年は

東山公園の桜は気付いた時が「開花日」2月11日でした。今年は気温が昨年よりは低目に推移しそうなので、これよりは遅れる？のではないかとはい思いましたが、30日再訪。昨年開花を観測した2本の桜については写真の通りで少しは芽の膨らみが増して来たかなと思われる程度でした。

この東山公園には町内の住民により、「桜の名所」を目指して遊歩道沿いに30本ほど本種が植栽されていると昨年書いたように思います。今回、念の為と観て回ったところ、近年植栽された数本の若木では右の写真のように、もう蕾が覗きそうな状況にまで芽が展開していることが分かりました。しばらくは眼が離せません。

なお、前述の河津町の「桜祭り」、今年度は2月1日から28日までと発表されていますが、今のところ公の開花情報はありません。個人のブログでは、1月29日に咲き始めたとの記述・写真が発表されています。昨年に比べると少し遅めかなと思います。



5. 秋咲き桜の今

秋～冬に咲くサクラに付いては昨年の正月過ぎの**2020年サクラだより 別報3**に、頂いた京都植物園の情報を基にまとめました。この等の桜の内、私の近所で見られる種は「ジュウガツザクラ」（数か所）と「コブクザクラ」（2ヶ所）の2種です。この2種については11月ごろには咲いていたのかな？程度の記憶、記録はありません。その後の散策でも歩くコースによりけりですので観る回数が多いとは言えませんが・・・、昨年はコブクザクラの方は1月に1度花が見られなくなっていた期間があったのに、今年は増・減はあっても見るたびに花がついているようです。最近、年末から咲き続けて来ているサザンカやツバキに加え、ボケ、蟠梅、白梅、紅梅、ウンナンオウバイ・・・などの開花も始まってきており、咲き続けて来ている桜への関心も薄くなって来てはいますが、最近は一時に比べると花数は増え1分咲き程度？になって来ているのかなと思います。寒期に咲き、春の桜と違い花弁が散ることがないので花の寿命？が長くそう感じるのかも知れません。現在のジュウガツザクラの花の様子は下のような状況です。

***今年も、ボケ防止、自分の忘備録として本報を書き始めました。個人で観て歩ける範囲は知れています。今年も皆さまからの情報の提供やご意見、切にお願いする次第です。 以上**

